

大和郡山 防災ニュース 29. 2月

このニュースは、市内で防災に関わる住民の皆さんに、動きや情報を提供します。

自主防災組織で 防災力と地域の絆を高めましょう！

平成7年の阪神淡路大震災、平成23年の東日本大震災と私たちはテレビの映像などで地震の脅威を心に刻んできた中で、もし自分たちの身の上にもあのような災害が降りかかってきたら、という漠然とした不安を心の奥底に宿しておられた方は多くいらっしゃると思います。

そんな中、発生した昨年4月の熊本の震災、震度7が2度立て続けに発生するという事態が発生。多くの皆さんにとって従来の漠然とした不安が一気に現実起こりうることとして頭にもたげてきたのではないかと存じます。

その反面「奈良では地震は起きない」と思われている方も意外と多いのではないのでしょうか。九州においても多くの方が今まで「九州には地震がない」と言われてきたそうです。しかし長い目で見ると日本の中で地震が起こらない地域はないといっても良いでしょう。

災害に対する「自助」「共助」「公助」という言葉はすっかり一般的になりましたが、実際に地震や大水害など災害が起こったとき、多くの「命」を助けられるのは、自分自身の身を守り、安全な場所へいち早く逃げる「自助」であり、隣近所や自治会、自主防災組織、消防団等の地域の力で助け合う「共助」です。中でも自主防災組織は自治会をベースにしながら地域防災を進める中心的な存在です。

※自主防災組織の役割とは？

では災害時、自主防災組織にはどんな役割が求められるのでしょうか？

- ① 地域住民を迅速に避難させることと避難状況の把握です。
- ② 避難所における秩序の維持、避難所運営です。

この2つの基本的な役割の他、地域でできる活動を加えていただいたら良いと存じます。

※あなたの自治会でも自主防災組織を立ち上げませんか！

地域でも防災に取り組みねばならないのはわかっているんだけど、自主防災組織ってどうやってつくって、どんなことをすれば良いのだろうか？というご質問をよくお受けします。

まずは、自治会の会議で防災の話題を取り上げていただけないでしょうか？日本各地で近年発生した災害を取り上げ、自分たちがこのような災害のとき、どうやって逃げるかを想像してもらい話題にさせていただき、同感、同情が得られたら、自主防災組織の結成についてご提案いただけませんか？

うか？

自主防災組織を結成すると決まったら、規約と役員を決めることが必要になります。規約例は市民安全課にございます。役員選任については、発足当初や規模の小さな自治会においては、自治会長や自治会役員が兼務しても構いません。

また、活動については、他市の例ですが、ある自主防災組織では、夜間に災害が起きたと想定して「観月会」という名目で夜に避難場所まで集まっていたいただき、夜食の提供というかたちで炊き出しを行い、お楽しみ会の中に訓練を組み込んでいるというお話を聞きました。肩肘張らない防災活動から始めていただくのも意識を高める方法かもしれません。

※補助金を活用してください。

市民安全課では自主防災組織の活動費用（訓練、備蓄品（食料等）資機材（消火器、ラジオ、ヘルメット等）の購入）の2分の1の補助金を交付する制度があります。初回のみ全額補助を受けられます。（いずれも世帯数で年度補助上限額有）組織結成や活性化のきっかけにぜひご利用ください。

大和川工事事務所(国土交通省)と佐保川の巡視を行いました！

去る2月3日、大和川工事事務所、奈良地方気象台、奈良市危機管理課、奈良市消防局と大和郡山市市民安全課、建設課合同で佐保川の巡視を行いました。これは、堤防上の道路を車でたどりながら、増水時の写真等と見比べながら現地視察を行うもので、普段から佐保川の流路や堤防、主要な流入河川や樋門等を知ることにより増水時の対応をスムーズにすると共に、担当者同士が顔の見える関係となることで、いざという時の体制を整えてまいります。

大和郡山防災ニュースは、市のHPでもご覧になれます

大和郡山防災ニュース	検索
------------	----

↗

消防団のニュースは、『大和郡山市消防団へようこそ！』をご覧ください！

大和郡山市消防団へようこそ	検索
---------------	----

↗

編集後記

昨年ある自主防災組織の防災行事を見せていただいた時に感じたのが、発表する側の住民と聞く側の住民の質疑や会話がフランクで仲の良さを感じました。防災が目的の会合や訓練から会話の輪が広がり、いろんな場面でご近所の底力が発揮される仲の良い地域が築かれれば良いなあ、と思います。

発行人 市役所市民安全課